



くさか景子の



ちよっ

よろしいですか!

と

毎月発行 県政情報紙 2010年11月 Vol 42

県の生物多様性保全の取り組み



折りしも、名古屋市で開かれた生物多様性会議(COP10)は、10月29日、遺伝資源の国際ルール「名古屋議定書」と生態系保全の「名古屋ターゲット」を採択して、閉幕しました。世界植物保全戦略「2020年までに各国の絶滅危惧植物の少なくとも75%を保全する」という方針を決めました。私も、期間中、COP10を訪れ、絶滅危惧動植物などの展示場を見て回り、深刻な生態系の危機状況に考えさせられました。

神奈川県では、この5月、環境関係の各委員で、生物多様性検討委員会を立ち上げ、県の生物多様性保全の基本方針を定めます。

自然環境保全としては、厚木市七沢に自然環境保全センターを新設、丹沢の森林づくりや野生動物の保護などを行っています。水源保全の財源としては、水源保全税、個人県民税の超過課税(一人年額約950円)を平成19年から23年まで5年間、190億円を充てています。

私は、先日、県議会特別委員会で、伊勢原と秦野の水源の森林づくり事業を視察しました。スギ、ヒノキ林を間伐、枝打ち、つる切りを行い、見通しの良い森林となった再生現場でした。

神奈川の重要な自然環境丹沢地域は、ブナ林の立ち枯れ、ニホンジカとの共存などの問題も多く、生態系保全のための取り組みは喫緊の課題です。



くさか景子バスツアー

秋のスペシャル企画

◆見学場所

- ・東京ガス[ワンダーシップ]環境エネルギー館 ・羽田空港新国際線旅客ターミナル
- ・JAL整備工場

◆日時:2010年12月4日(土) 午前8:00集合

◆集合場所 茅ヶ崎市役所分庁舎と茅ヶ崎市民文化会館の間の道

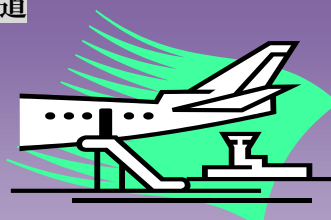
◆参加人数:50名(申し込み順)

◆参加費:2,000円(当日集金)

◆問合せ・申し込み

くさか景子事務所

TEL&FAX 0467-58-0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp





障がい者雇用ナンバー1を目指すー大阪ハートフル条例 知事表彰企業「三洋商事」を訪問！



大阪府では、障がい者の実雇用率が低く、働く機会が十分提供されていない現状から、障がい者が、夢や希望を持って生き生き働き、自立した生活を送ることができる地域社会を実現するため、平成 22 年 4 月、大阪ハートフル条例ができました。

私は、大阪府庁で条例の説明を受けた後、東大阪市の三洋商事を訪問しました。この会社では、携帯電話の希少金属の回収、リサイクルに伴う解体に障がい者の社員を雇用し、会社全体で 53 人、19%を占めています。しかも、リサイクル率 97.9%環境分野でも数々の賞を受けています。解体破碎機は使わず、手作業です。

三洋商事では、掃除が一番大事、作業場は、整理整頓、素晴らしくきちんと片づけられ、挨拶も明るく、実に気持のよい職場です。社是は、従業員とその家族の幸せを大切にすることです。

グループ長さんによると、障がい者雇用が進まないのは、企業が障がい者に門戸を開かない、全く考えていないからだ、もっと積極的に考えるべきだと言われました。障がいのある人の雇用の促進に貢献する企業が、神奈川県にも増えるよう、推進していきます。



くさか景子のほっとコラム

政府の「待機児童ゼロ特命チーム」の発足に期待！

全国の認可保育園に入れない待機児童の数は約 2 万 6 千人、全国一は横浜 1500 人、茅ヶ崎でも 200 人くらいはいます。今は不況で、両親とも働きたいのに、こどもを預けるところがない、これではこどもを産めないと少子化へと加速していくのが現状で、国の重要課題です。日本政府も前倒しで取り組み 来年度予算に反映されるようです。

しかし、すでに各自治体では先進的に待機児童対策を行っているところも多く、国の積極的な支援が急務です。女性の就労を促進するためにも保育分野の雇用を創出し、少子化を解消するためにも安心して子育てができるように、岡崎トミ子大臣、村木厚子政策統括官頑張ってください！